

令和6年度教育委員会予算見積総括表

令和6年度予算の基本方針

新たに策定する「第3期教育等の振興に関する施策の大綱」・「第4期高知県教育振興基本計画」に基づき「子どもファースト」の取り組みを進めます。特に、ICTも活用した学力向上対策の充実や、不登校の児童生徒の早期発見・支援のための取組の強化や多様な学習機会の確保に取り組みます。加えて、遠隔教育や高等学校の魅力化の推進により、中山間地域における教育の振興を図ります。

一般会計

令和6年度予算見積額	20,842,475 千円
令和5年度当初予算額	21,424,327 千円
差 引 増 減 額	-581,852 千円
対 前 年 度 比 率	97.3 %

高等学校等奨学金特別会計

令和6年度予算見積額	229,905 千円
令和5年度当初予算額	234,374 千円
差 引 増 減 額	-4,469 千円
対 前 年 度 比 率	98.1 %

(注)上記には、人件費を含まない。

1. 「高知家」の全ての子どもたちが、急速に変化する予測困難な今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進

※()は一般財源、[]は令和5年度当初予算

デジタル 学力向上推進対策費(学力向上検証サイクル確立事業) **42,151千円 (42,151千円)**
[R5:47,684千円 (47,684千円)]

小中学校において、1人1台タブレット端末やデジタル教材を効果的に活用しながら、問題解決に主眼を置いた授業改善と、授業と授業外学習を切れ目なくつなぐシームレス化を推進することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。さらに、学力調査等の結果から明らかとなった中学校の学力の課題を解決するため、学校支援訪問や教科ごとの研究協議会による授業改善を図ります。

また、AIデジタルドリルを活用した個別最適化された出題による基礎学力の定着等の取組を進めながら、継続的な学力向上検証サイクルの確立を目指します。

デジタル 高校教育推進費(学力向上推進事業等) **112,684千円 (105,723千円)**
[R5:109,656千円 (105,073千円)]

生徒の学力の向上や学習習慣の定着のために、デジタルツールを用いた課題配信を行うなどして授業外学習の充実を図るとともに、授業では事前課題の内容等をもとに協働的に学ぶ活動を重視するなど、授業と授業外学習を切れ目なくつなぐシームレス化を意識した授業改善に取り組みます。あわせて、学校支援チームの学校訪問を通じた授業改善のための支援を継続するとともに、ICT授業アドバイザーによるデジタル技術への支援も行います。また、必要に応じて学習支援員を配置するなど、個別最適化された学習の実現を目指します。

拡 情報教育推進費(学習支援プラットフォーム構築等委託料) **67,980千円 (36,011千円)**
[R5:6,600千円 (6,600千円)]

デジタル 県独自の学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」について、新たな機能として個別最適な学習指導の充実や主体的・自主的な学習を促進するスタディログ（学習記録）の教員・児童生徒・保護者へのフィードバックの充実を図るとともに、教職員の事務負担を軽減するための保護者アカウント発行や情報提供機能の充実に取り組みます。

- 主な拡充内容：県版学力調査やデジタルドリル学習結果等のスタディログ提供の機能拡充、高知家まなびばこにアクセスするための保護者アカウントの新規発行と情報提供機能の提供、セキュリティ強化、全県ヘルプデスクの提供

1. 「高知家」の全ての子どもたちが、急速に変化する予測困難な今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進（続き）

拡 学力向上推進対策費(英語教育強化プロジェクト) **20,849千円 (12,950千円)**

[R5: 9,999千円 (4,867千円)]

グローバル グローバルな視野をもち、英語で地域の魅力を発信できる人材の育成を目指すとともに、発信力強化を図るため、英語プレゼンテーション大会を実施します。また、各種データ分析に基づく授業改善や小・中・高等学校の英語教育の連携を推進することで、児童生徒の英語力向上を図ります。さらに、児童生徒の英語力向上を目指す市町村に対して、外国語指導助手等の配置を支援します。

- 主な拡充内容：市町村への外国語指導助手等の配置支援（英語教育強化プラン外国語指導助手等配置補助金の新設）
・補助先：市町村 ・補助率：1 / 2 以内

グローバル 高校再編推進費(グローバル教育推進事業) **45,988千円 (30,888千円)**

[R5:38,409千円 (26,626千円)]

グローバルな視点をもって本県の地域振興や産業振興を担う人材や世界で活躍できる人材の育成につなげるため、公立高等学校の生徒の短期留学を実施・支援します。また、専門家を招聘した授業研究などを行うことで、グローバル教育を一層充実させます。

人口減少 高校教育推進費(キャリアアップ事業等) **52,287千円 (52,196千円)**

[R5:54,633千円 (54,535千円)]

生徒の職業意識を高め、将来、地域や社会のために貢献しようとする志を育むため、大学や県内企業等と連携・協働したキャリア教育の充実を図ります。そのために、大学の学び体験や企業訪問・インターンシップ等への参加者を増やすとともに、企業へのインタビューシップを導入するなど、その質的な向上を図ります。また、高知県工業会等と連携して学校での事業所説明や講師派遣によるキャリア講演を行うなど、県内就職につながる施策の充実を図ります。

拡 豊かな心を育む教育推進費(キャリア教育強化プラン) **14,709千円 (14,709千円)**

[R5:866千円 (866千円)]

人口減少 中学生のためのキャリア教育副読本「みらいスイッチ」を広くわかりやすく伝えるためデジタル版として改訂し、高知県の産業や企業、そこで働く人々について理解を深めます。また、新たに、小・中学校のキャリア教育担当教員の研修会を実施することにより、教員の指導力の向上を図り、
デジタル 社会人・職業人として自立するために必要な資質・能力を育むキャリア教育の充実につなげます。

- 主な拡充内容：「みらいスイッチ」をデジタル版として改訂

1. 「高知家」の全ての子どもたちが、急速に変化する予測困難な今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進（続き）

拡

高校再編推進費(地域教育魅力化ネットワーク事業等)

84,990千円(82,004千円)

[R5:35,499千円(35,499千円)]

人口
減少

地元市町村等と連携・協働した探究型学習や部活動の充実・強化などの取組を推進することで中山間地域の高等学校の魅力化を促進し、地元中学校や県外からの入学生の増加にもつなげます。あわせて、高校魅力化コーディネーターを配置し、地域みらい留学等の取組を積極的に展開することで、県外からの入学生増加につなげます。また、地域の教育力の向上と活性化を目的とした交流施設等を整備する市町村を支援します。

■主な拡充内容：

- ・高校魅力化コーディネーター（県版地域おこし協力隊）を配置
- ・地域みらい留学参加校の拡大、ホームページ等を活用した情報発信の強化
- ・教育振興施設整備事業費交付金の対象事業に生徒の居住機能を有した施設等の施設改修を追加

幼保連携推進費(保幼小連携・接続推進費等)

7,300千円(150千円)

[R5:12,004千円(140千円)]

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、モデル地域における「架け橋期カリキュラム」の実践・検証を支援するとともに本県全域への普及を目指します。また、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である幼児期の教育に関する周知啓発の取組を強化します。

豊かな心を育む教育推進費(いじめ防止対策等総合推進事業費)

6,217千円(6,217千円)

[R5:6,463千円(6,463千円)]

「高知県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応の両面から、いじめ問題等への総合的な取組を推進します。いじめの重大事態化を防止するため、「スクールロイヤー活用事業」の活用促進等を行い、いじめを生まない環境づくりや、児童生徒がいじめをしない態度や能力を身につけられるよう、児童生徒向けの授業や教職員向けの研修の充実を図ります。

2. 「高知家」の子ども誰一人取り残さず、多様な背景・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進

新 **特別支援教育推進費(通常の学級における合理的配慮実践充実事業費)** **745千円 (745千円)**
[R5: -千円 (-千円)]

通常の学級において特別な支援を必要とする児童生徒が安心・安全に学べるよう、指定校を設定し、外部専門家等の派遣による助言や先進校の視察研修を通じて、合理的配慮に対する意識の向上及び校内支援体制の充実を図ります。また、高知家まなびばこ「教職員ポータルサイト」に高知版インクルーシブ教育データベースを設定し、指定校での合理的配慮の事例を集積・展開することで、実践を広げます。

拡 **教育内容充実費(地域と協働したキャリア教育推進事業費)** **10,430千円 (10,402千円)**
[R5:8,122千円 (8,099千円)]

特別支援学校において、地域と協働した早期からのキャリア教育に取り組むとともに、卒業後の余暇活動にもつながる文化・芸術・スポーツ活動などの体験活動を充実させ、児童生徒が、自分らしい充実した生活を送るためのキャリア教育を推進します。また、特別支援学校に就職アドバイザーを配置し、就労支援や進路指導を充実させ、児童生徒の社会的自立・職業的自立の実現を目指します。

■ 主な拡充内容：地域の資源を活用した文化・芸術・スポーツ活動等の体験学習の機会の増

豊かな心を育む教育推進費(スクールソーシャルワーカー活用事業等) **488,615千円 (386,328千円)**
[R5:486,973千円 (388,790千円)]

厳しい環境に置かれている児童生徒を早期に発見し、支援につなげるため、スクールソーシャルワーカー等の校内支援会への参加促進を行い、学校の支援体制を強化します。また、学校と各市町村福祉担当部署等の関係機関が連携して、SOSの出し方に関する教育指導資料の作成、活用を推進することで、悩みを抱えた児童生徒への早期支援を行い、いじめや不登校の深刻化を防ぎます。

拡 **豊かな心を育む教育推進費(多様な教育機会の検討事業等)** **6,575千円 (4,098千円)**
[R5:4,885千円 (4,885千円)]

デジタル 不登校児童生徒一人一人の状況に応じた支援の充実を図るため、教室での学習になじめない生徒が、タブレット等のICT機器を活用しながら安心して学習ができる校内サポートルーム設置を促進します。また、有識者会議を開催し、高知県の実情に応じた多様な教育機会の在り方について研究を進めていきます。

■ 主な拡充内容：校内サポートルーム設置・運営の際に必要な指導者用端末等の環境整備のための経費や、人材配置に係る経費の補助金を新設（校内サポートルーム設置促進事業費補助金）
・補助先：市町村 ・補助率 1 / 3 または 2 / 3

2. 「高知家」の子ども誰一人取り残さず、多様な背景・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進（続き）

- 新** **心の教育センター費(多様な教育機会の充実支援事業)** **5,637千円 (944千円)**
[R5: -千円 (-千円)]
- テ** 学校や市町村教育支援センターに通うことが難しい不登校児童生徒の学習機会を確保するため、心の教育センターにおいて、メタバース（仮想空間）を活用した居場所の提供やオンライン学習システムによる学習支援など、ICTを活用したサポートが受けられる体制を整備します。
- 拡** **教育研究指導費(遠隔教育推進事業費)** **39,242千円 (31,095千円)**
[R5:32,412千円 (27,652千円)]
- 人口** 遠隔教育システムを活用し、高校では、遠隔授業配信センターから全ての小規模高校に対して難関大学への進学等の生徒のニーズに応じた授業や補習を配信し、学校規模や地域間における教育機会の格差の解消を図ります。
- テ** また、中学校の免許外指導担当教員の教材研究等における負担軽減と授業の質の担保・向上のため、小規模中学校の免許外指導担当教員（R5美術・技術・家庭科：のべ115人）に対して、遠隔オンラインでの知識・技能等の指導力向上への支援に取り組みます。
- 主な拡充内容：高校遠隔授業時数の拡大、同時配信の拡大、キャリア教育講演会の充実、
中学校免許外指導担当教員支援に係る専門支援員の拡大、指導力向上指定校（定期的・継続的支援）の拡大
- 拡** **保育料等軽減事業費(多子世帯保育料軽減事業費)** **156,405千円 (156,405千円)**
[R5:87,117千円 (87,117千円)]
- 人口** 多子世帯等の経済的負担の軽減を図るため、国の無償化の対象とならない3歳未満児の保育料を軽減（無料化）する市町村への補助を行うことで、子どもを産み育てやすい環境の実現を図ります。
- 主な拡充内容：補助対象範囲の拡大（厳しい環境にある子どもや家庭への支援の拡充）

3. 「高知家」の誰もが、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりと活動・取組の推進

青少年教育施設整備費(青少年教育施設の整備)

415,663千円 (26,763千円)
[R5:94,747千円 (9,747千円)]

青少年教育施設を安全・安心に利用していただくために、青少年体育館及び青少年センター体育館の非構造部材の耐震化や、芸西天文学習館改築等に取り組めます。



図書館管理運営費(県立学校等との連携・協力)

3,650千円 (3,650千円)
[R5:4,148千円 (4,148千円)]

県立図書館において、デジタル化や多文化理解等、日々変化する社会環境に対応した最新かつ多様な資料・情報を収集し、県立学校等へ提供することにより、学校における探究的な学習を支援します。また、児童生徒の学習を支援する観点から、1人1台タブレット端末で閲覧できる電子書籍の充実を図ります。

4. 「高知家」の教育・学びの充実に向けた各種施策を総合的・計画的に推進するために、必要な環境・体制等の整備

拡 教職員費等(教員業務支援員配置事業等)

169,337千円 (129,255千円)
[R5:141,938千円 (111,953千円)]

教員の業務負担の軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、採点や学習プリントの準備等の業務を教員に代わって行う教員業務支援員等の配置を拡充します。

あわせて、メンタル要因による早期退職や病気休職などの予防や、ハラスメントへの早期対応のため、メール・電話等に加え、若年教職員を中心に、新たに学校訪問による相談対応を行うとともに、管理職等からの相談にも対応するなど相談体制の強化を図ります。

さらに、教員を確保するため、高知県で教員として働く魅力をPRできる動画を作成し、SNSや採用説明会等で公開することで、県内外の教員を志望する方に興味を持っていただき、高知県教員採用審査の志願者増加を図ります。

- 主な拡充内容：市町村立学校における教員業務支援員の配置校数を拡大、学校訪問による相談対応の実施など相談体制を強化

4. 「高知家」の教育・学びの充実に向けた各種施策を総合的・計画的に推進するために、必要な環境・体制等の整備（続き）

新

小学校教職員人件費(小学校若年教員サポート事業)

※別途人件費として計上

若年教員の負担軽減を図るため、小学校の新規採用教員にサポート教員を配置し、授業づくりや児童、保護者対応への指導、助言を行うとともに、必要に応じて代わりに授業を行うなど支援体制を整えます。

学校体育推進費(部活動地域連携等支援事業)

15,880千円 (4,080千円)
[R5:18,757千円 (2,506千円)]

生徒にとって望ましい持続可能なスポーツ活動の機会の確保と学校の働き方改革の実現に向けて、運動部活動の地域連携・地域移行に向けた市町村の体制整備を支援します。

学校体育推進費(運動部活動指導員配置事業)

73,549千円 (57,834千円)
[R5:81,072千円 (63,255千円)]

顧問の代わりに専門的な指導ができ、単独で指導や引率ができる外部人材（運動部活動指導者）を市町村立中学校、県立中・高等学校に増員して配置することで、教員の負担軽減を図るとともに、生徒にとって望ましい活動環境を構築します。

学力向上推進対策費(文化部活動指導員配置事業)

7,845千円 (4,345千円)
[R5:4,530千円 (2,663千円)]

顧問の代わりに中学校の文化部活動に単独での指導や引率ができる外部人材（文化部活動指導員）を増員して配置することで、文化部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図ります。

拡

保育士等人材確保事業費(保育士等人材確保事業委託料等)

139,236千円 (38,388千円)
[R5:121,732千円 (29,369千円)]

県社会福祉協議会の福祉・人材センターにコーディネーターを配置し、求職者と保育職場とのマッチングに取り組むほか、保育士資格の取得を目指す学生への修学資金の貸付を行います。

併せて、保育補助者を配置する取組を支援し、保育士の業務負担の軽減を図ります。

■ 主な拡充内容：福祉・人材センターのコーディネーターの増員

4. 「高知家」の教育・学びの充実に向けた各種施策を総合的・計画的に推進するために、必要な環境・体制等の整備（続き）

施設整備費(県立学校施設長寿命化改修事業費)

1,791,435千円 (231,335千円)
[R5:214,030千円 (19,030千円)]

学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の老朽化対策として、施設の機能を維持しながら長く使い続けるため、長寿命化改修を行うとともに、あわせてLED照明の設置などの省エネルギー化やバリアフリー化等を実施します。また、学校施設の全体を把握し、総合的かつ長期的な視点で整備を進めていけるよう現行の学校施設長寿命化計画の改定を行います。

学校安全費(高校生防災教育推進事業費)

3,096千円 (3,096千円)
[R5:3,077千円 (3,077千円)]

本県で想定される全ての自然災害（地震・津波・風水害・土砂災害等）について学ぶ機会をつくるとともに、被災地訪問や防災士資格取得などの取組を通じて、未来の高知県を牽引する高校生防災リーダーの育成を推進します。

また、「高知県高校生防災サミット」を開催し、県下高等学校・特別支援学校にその成果の普及を図ります。



情報教育推進費(市町村立学校校務支援システム運用保守等委託料等)

146,959千円 (58,349千円)
[R5:131,119千円 (48,289千円)]

教職員が出欠管理・成績管理等を行う校務支援システムや各教育委員会が効率的にアンケート調査を実施するためのシステム「高知家しらべばこ」など、ICTを活用することにより、教職員の業務の効率化を図ります。